＊竹田市感染症情報（竹田市独自集計）＊

令和8年第44週（10月26日～11月1日）

手足口病にご注意ください

今週、竹田市調査医療機関から報告された患者数は3人で、先週の1人から増加しました。大分県全体の定点医療機関1か所あたりの報告数は0.33人で、先週の0.25人からやや増加しています。

手足口病は、口の中や手足に水疱性の発疹が現れる感染症です。例年、夏に子どもを中心に流行します。石けんでの手洗いやタオルの共用を避けるなど、感染予防を心がけましょう。

RSウイルス感染症について

今週、竹田市調査医療機関から報告された患者数は2人で、先週の3人から減少しました。大分県全体では定点あたり報告数が1.25人となり、先週の1.03人から増加しています。

RSウイルス感染症の主な症状は、発熱、鼻汁、咳などです。始めて感染した時は重症化しやすく、特に生後6か月以内の赤ちゃんは、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。感染した人の咳やくしゃみのしぶきを吸い込むほか、ウイルスが付いた手や物に触れることで感染します。予防には、こまめな手洗いが大切です。手すりやおもちゃなど、よく触れる物はアルコールで消毒しましょう。鼻汁や咳などの症状がある方は、周囲への感染を防ぐため、マスクを着用しましょう。

インフルエンザは減少傾向です

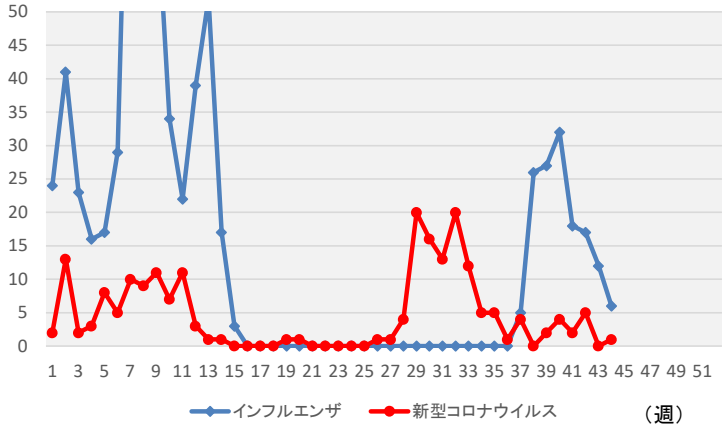
今週、竹田市調査医療機関から報告された患者数は6人で、先週の12人から減少しました。報告されたウイルスは、すべてA型でした。大分県全体では定点あたり報告数が6.79人となり、先週の6.81人からほぼ横ばいです。



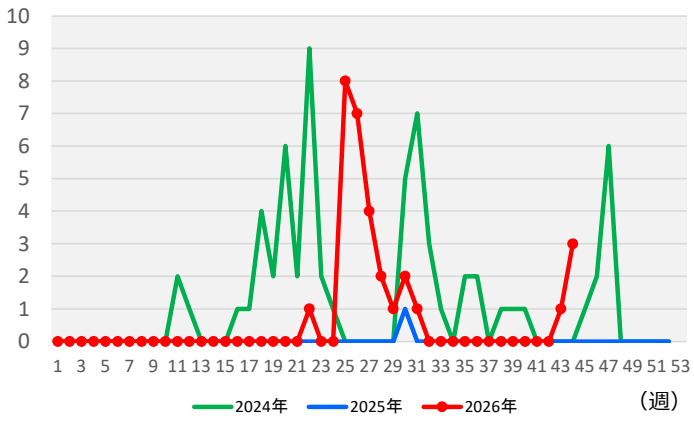
（第４４週）　（調査医療機関8か所の総患者数）

疾患名／年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（みずぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（リンゴ病）	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎	麻しん（全数報告）	風しん（全数報告）	百日咳（全数報告）	つつが虫病（全数報告）
	A型	B型	不明																
0歳					1														
1～3歳										1									
4～6歳					1					1									
7～9歳										1									
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上	6			1				1											
今週	6			1	2			1		3									
	6																		
70歳以上（再掲）				1															
先週	12				3			2	1	1				1					

（人）　インフルエンザ・新型コロナウイルス報告数　推移



（人）　手足口病竹田市8医療機関総数



大分県豊肥保健所　作成







出典:厚生労働省ホームページ